

医学系研究に関する情報の公開について

2020-8/

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 ... 大阪労災病院
研究課題名*	内視鏡レーザーアブレーションを用いた発作性心房細動アブレーション後の長期予後の予測因子の検討 -Holter 心電図を用いた検討-
所属科*	不整脈科
研究責任者*	江神 康之
研究実施期間	開始 西暦 承認日 ~ 終了 西暦 2025 年 3 月 31 日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	発作性心房細動 (50 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 承認日 ~ 至 西暦 2022 年 12 月 31 日
研究概要*	<p>内視鏡レーザーアブレーション治療は肺静脈隔離術の高い成功率から発作性心房細動に対して広く行われるようになってきた。しかし、長期的な治療成績については未だに不明な点もある。</p> <p>心房細動の再発は術後 12 ヶ月以内に発生することが多いが、それ以降についても再発することが報告されている。最近, Holter 心電図を用いて、高周波アブレーション後の心房細動の長期的な再発を予測可能であることがわかってきた。そこで、今回、内視鏡レーザーアブレーション後の患者の長期的な再発を Holter 心電図を用いて予測可能かどうかを検討する。</p> <p>心房細動患者の多くは血栓塞栓症予防目的で抗凝固薬を内服しているが、経過中に出血事象を発症した際に、一時的に抗凝固薬の中止を余儀なくされることがある。そのような場合にも、再発のリスクが事前に予測できれば、リスクに応じた抗凝固薬の中止期間を計画することが可能となるため、今回の研究の意義は大きいと判断する。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表は大阪労災病院 循環器内科で厳重に保管する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 循環器内科 072(252)3561

*記入必須項目